

より一層の改革推進をめざし、メンバー公募型の『働き方改革プロジェクト』始動

三洋化成工業株式会社
(証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社(本社:京都市東山区、社長:安藤孝夫)は、全従業員が誇りを持ち、働きがいを感じる企業を目指し、より一層改革を進めるため、社長直轄で全社横断型の『働き方改革プロジェクト』を始動しました。

『働き方改革プロジェクト』では、基本メンバー以外のメンバーは公募・推薦とし、従業員がより積極的に関与することで、これまで以上に働き方改革および業務革新を加速させていきます。

当社は、経営トップが働き方改革を経営重点事項と位置づけ、人事部や業務革新推進チームが主体となり、抜本的な意識改革や「業務革新・業務効率化・働き方改革」を推進してきました。

制度面では、勤務時間を自主的に設定できるフレックスタイム制を導入(2015年1月～)し、特に研究部門はコアタイムなしのスーパーフレックス制とすることで、より流動的に業務計画が立てられるようにしました。また、一時間単位で有給休暇を取得できる時間単位有給休暇制度も2016年9月から導入し、効率的な働き方を実践しています。

運営面では、従業員がイントラネットを通して社長・役員に直接提案できるe-POST制度の導入や、会議の削減など業務のムダ・ムリ・ムラを排除してきました。

その結果、2016年11月には京都労働局より「働き方改革」に積極的に取り組んでいる企業として、京都府におけるベストプラクティス企業の第一号に認定されました。一人ひとりの生産性向上を継続することで、2017年度では全社平均で一人当たり2016年度比最大約2時間/月(約20%強)の残業時間短縮にもつながりました。

また、当社は男性の育児休業推進やベビーシッター・病児保育費用補助制度を導入するなど、育児の必要な社員の支援を積極的に進めています。

その活動が認められ、2007年には京都で初めて厚生労働省より「くるみん」の認定を受け、2017年8月1日には京都労働局より「プラチナくるみん」の認定を受けました。「プラチナくるみん」は「子育てサポート企業」として「くるみん」の認定を受けた企業のうち、より高い水準の取り組みを行なった企業が受けられるものです。

女性活躍推進においても、社内外の研修や交流会、旧姓使用制度の導入や人材育成計画などの取り組みの結果、主任職以上の女性リーダーは45人(2017年度末時点)を超え、2013年度比1.7倍となり、2020年に2013年度比1.5倍とする当初の活動目標を3年前倒しで達成することができました。

このように、当社はさまざまな働き方改革を行っていますが、改革をより一層加速させるため、2018年度からスタートした第10次中計で、社長直轄の『働き方改革プロジェクト』を始動することにしました。『働き方改革プロジェクト』では改めて全社横断的な3つのワーキングチーム(以下WT)を設置します。

- ・「柔軟な働き方WT」
- ・「業務革新WT」
- ・「IT化・AI化WT」

全社を挙げて課題解決に取り組むことで、部門を超えたシナジー効果が期待できます。

多様な人材がますます活躍し生産性を高めることで、企業価値の向上につながるよう、全社一丸となり邁進してまいります。

『働き方改革プロジェクト』

リーダー:人事本部長 / 基本メンバー:人事部長等10名
プロジェクト設置期間:2018年5月～2021年3月(第10次中計期間中)
3つの全社横断型WTを設置

■ワーキングチーム (全社横断型、メンバー公募制)

1. 柔軟な働き方ワーキングチーム

各種労使委員会の提案に基づく柔軟な働き方を実現するための社内制度の具体化と実行化を行う。一例としてテレワークや在宅勤務、計画的な有休取得推進、短時間勤務制度(仕事と病気治療の両立支援)などを検討予定。

2. 業務革新ワーキングチーム

営業・生産・研究・間接の各業務部を中心に、全社からメンバーを公募し、業務革新を目指す意識改革・風土改革を加速させる。第10次中計スローガンである「変える。」の具体化と実行化を行う。一例として、部門間交流会、モバイルツールの導入などを検討予定。

3. IT化・AI化ワーキングチーム

CPシステム部を中心に、各部門のIT関連に強い社員をメンバーに推薦し、全社視点から業務効率化を促進するIT関連ツール導入の具体化と実行化を行う。一例として、仮想デスクトップサービスやRPA(Robotic Process Automation)などを検討予定。

<参考>

これまでの働き方改革の取り組み

■ワークライフバランスの推進

フレックスタイム制度導入(2015年1月～。研究部門はコアタイムなしのスーパーフレックス制)、
時間単位有給休暇制度導入(2016年9月～)

■業務革新制度構築

社員からイントラネットを通して社長・役員に直接提案できる e-POST制度、世界中どこからでもモバイル端末から社内イントラネットに接続できるユニバーサルコネクト携帯ブラウザ接続サービス導入、ペーパーレス会議、BIシステム導入、社内イントラ・スケジュール活用、モバイルワークオフィス活用

■多様な人材が活躍できる職場環境整備のための意識改革・制度構築

女性活躍推進施策(社内外の研修や交流会、社長との交流会実施、旧姓使用制度導入)、計画的な人材育成計画・配置、コース制度の見直し(総合職・専任職コースとし、一般職を廃止)、能力開発面接の実施

その他、厚生労働省「ポジティブアクション」普及促進に賛同しています。

「ポジティブアクション」とは、男女労働者の差を解消すべく、個々の企業が行う自主的かつ積極的な取り組みのことです。

当社の取り組みは以下のサイトに掲載しています。

【ポジティブアクション応援サイト】

http://www.positiveaction.jp/pa/search/detail.php?company_id=1343

【女性の活躍推進宣言コーナー】

http://www.positiveaction.jp/declaration/add/search_detail/?id=1163



また、内閣府男女共同参画局が支援する「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」の行動宣言に賛同しています。

真の女性活躍の実現を目指し、男性を含めた従業員全体の働き方への意識改革に積極的に取り組む企業が賛同するものです。

【「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言ホームページ】

http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders/index.html



■育児・介護の必要な社員の支援

両立支援ハンドブック作成、復職前面談や育休復職者支援セミナーの開催(育児休暇からの復職者支援)、男性の育児休業取得推進、育児休暇期間中のキャリア形成支援、ベビーシッター・病児保育費用補助制度、介護休業制度の拡充、失効積立休暇制度、介護勤務軽減・深夜業務免除制度導入

2017年8月1日
「プラチナくるみん」認定

次世代認定(くるみん)マークを
2007年に京都で初めて取得



■生産革新

スマートフォンによる警報アラーム作動場所の通知、IoTによる使用状況・監視カメラ等見える化、分析業務の革新、スマートコントロールバルブの導入、Wi-Fi機能付きウェアラブルカメラによる遠隔支援システム

<本件に関するお問い合わせ先>
三洋化成工業株式会社 広報部
電話 075-541-4312